

4 調査、研究報告及び資料・情報等の発行

(1) 公刊した報告書等

報告書名	発行年月	備考
平成21年度青森県水産総合研究センター事業概要年報	平成21年9月	
平成21年度資源管理体制強化実施推進事業浅海定線調査結果報告書（陸奥湾）	平成21年2月	
ナマコ種苗生産マニュアル	平成22年3月	
ホタテ養殖ごよみ	平成22年3月	
未来につなぐ資源管理2010	平成22年3月	青森県と共同発行
ホタテガイ採苗速報・養殖管理情報（平成5～21年度）	平成22年3月	水産総合研究所編集

(2) 提供情報

情報名	期間及び回数
ウオダス漁海況速報 No. 1659～1964	平成21年4月～平成22年3月（36回、号外34回）
ホタテガイ採苗速報 No. 492～508	平成21年3月～平成22年4月（17回）
同上（東奥日報紙）	同上
ホタテガイ養殖管理情報	平成21年6月～平成21年9月（3回）
同上（東奥日報紙）	同上
陸奥湾海況情報 No. 723～772	平成21年4月～平成22年3月（50回）
陸奥湾の水温（東奥日報紙）	平成21年4月～平成22年3月（毎日）

(3) 青森県水産研究情報 水と漁

発行番号	発行年月
初刊記念号	平成21年 7月
第2号	平成21年10月
第3号	平成22年 2月

(4) 学会発表要旨、学会誌発表論文

Fujikawa Y., Yamada Y., Kirihara S., Hayashi Y. and M. Notoya(2010) . Cultivation techniques for *Sargassum horneri* (Turner) C. Agardh (Phaeophyceae, fucales) in the offshore of Fukaura, Aomori prefecture, Japan. XX International Seaweed Symposium Abstracts, 123.

Kirihara S., Y. Fujikawa, Y. Yamada and M. Notoya (2010). Spawning egg-masses of the Japanese sandfish *Arctoscopus japonicus* on fucal species on the coast of Japan Sea in Aomori Prefecture, Japan. XX International Seaweed Symposium Abstracts.132.

藤川義一・今男人・坂本信大・桐原慎二(2010) 下北半島東通村猿ヶ森地先海域におけるマコンブ藻場造成手法調査 -I. 2010年日本応用藻類学会春季シンポジウム講演プログラム. 27.

藤川義一・今男人・坂本信大・桐原慎二(2010) 下北半島東通村猿ヶ森地先海域におけるマコンブ藻場造成手法調査 -II. 2010年日本応用藻類学会春季シンポジウム講演プログラム. 27.

山田嘉暢・藤川義一・林裕一・桐原慎二(2010). 八戸地先における紅藻アカバギンナンソウの生育状況と養殖手法の検討. 2010年日本応用藻類学会春季シンポジウム講演プログラム. 20.

山田嘉暢・藤川義一(2010). アカモク栽培とウスメバル稚魚資源の育成効果. 第5回海士町海藻シンポジウム, ホンダワラ群落の生態学と藻場造成技術要旨. 7.

桐原慎二・藤川義一・今男人・能登谷正浩(2008). 青森県佐井沿岸の磯焼け海域からのキタムラサキウニ除去によるマコンブ群落の形成. Algal Resources. 1, 45-60.

小坂善信(2010). 日本で初めての水産試験場の地方独立法人化. 日本水産学会誌, 76(2), 294-297.

矢幅 寛・磯田 豊・磯貝安洋・吉田 達・小坂善信・山内弘子(2009). 北海道大学水産科学研究彙報, 59(2), 47-57.

矢幅 寛・磯田 豊・吉田 達・小坂善信(2009). 北海道大学水産科学研究彙報, 59(3), 59-65.